

秋田市文化創造館 スタジオA

2024 8.17. 土 15:00 - 18:00

講師 矢原 隆行氏
参加 無料
定員 80名

「きくこと」

「はなすこと」

の つどい

共に生きるための会話についての会話

「きくこと」「はなすこと」のつどい

ー 共に生きるための会話についての会話

暮らしの中に安心できる対話の場があること

東北地域に「対話」実践のゆるやかなネットワークが育っていくことを願い、このつどいを企画しました。「対話」に興味をお持ちの方、福祉 医療 教育 文化芸術などさまざまなお立場の方、当事者やご家族など、多くの方々のご参加をお待ちしております。



矢原 隆行 Takayuki Yahara

リフレクティング

きく(自分との会話、あるいは自分の内なる他者との会話)」「はなす(他者との会話)」

リフレクティングは、この二種の会話を丁寧に重ね合わせ、うっし込み合わせながら

展開していく(すなわち、会話について会話する)ための工夫に満ちた方法です。

リフレクティング研究・実践の第一人者である矢原さんと共に

「きくこと」「はなすこと」の会話を丁寧に重ね合わせながら、

みなさんと、このつどいの場をつくっていきたいと思います。

臨床社会学者。ノルウェー北部、北極圏の街トロンムで、トム・アンデルセンが仲間たちと生み出したリフレクティング・プロセスに関心を持ち、北欧各地のメンタルヘルス、司法、教育、福祉、組織開発などの実践現場を訪ねる。国内では、福祉施設、精神科医療機関、少年院や刑務所などと協働して、リフレクティングの実践研究に取り組んでいる。関心は、あたりまえの会話が生まれるところ、文脈に風を通すこと。熊本大学大学院で、紛争解決学を掲げる専攻にて「ダイアログ実践」を担当。著書に「リフレクティング: 会話についての会話という方法」(ナカニシヤ出版、2016)、「トム・アンデルセン 会話哲学の軌跡: リフレクティング・チームからリフレクティング・プロセスへ」(金剛出版、2022)、「リフレクティングの臨床社会学: ケアとダイアログの思想と実践」(青土社、2023)など。

2024年8月17日(土) 秋田市文化創造館 スタジオA

時間 15:00 - 18:00

場所 秋田市千秋明徳町3-16

※駐車場はありませんので近隣駐車場をご利用ください(車イスご利用の方などはお申し出下さい)

講師 矢原 隆行 氏 (熊本大学大学院人文社会科学部教授 / 臨床社会学)

料金 無料(募金箱を設置させていただきます。ご寄付頂いたお金は、東北の対話文化醸成のために使わせていただきます。)

定員 80名(一機関から10名以上まとまったの参加希望の場合、事前に参加人数についてご相談ください)

○申し込み

こちらの Peatix から
またはお問合せ先までご連絡ください。



○お問合せ

NPO法人アートリンクうちのあかり 担当: 安藤

TEL 018-838-4711

(月・水・木・土・日の10:00-17:00)※電話に出られない場合もございます。

MAIL ikuko_ando@akibi.ac.jp

HP utinoakari.com

主催 NPO法人アートリンクうちのあかり

協力 (仮)東北対話文化を醸成する会

助成 日本財団

